



第49号
 令和2年12月10日
 発行
 虹の家保護者会



「環境を利用者に合わせて」

所長 小野 真

日本人初のNBAデビューを果たした八村塁選手の試合をYouTubeで見ました。八村選手のプレーの凄さとともに観客が熱狂する場面は、何と言っても高さ三m五cmのリングの上からボールを叩きつけるダンクシュートでした。このシュートは、バスケットボールの醍醐味です。また、バスケットボールを経験した者であれば一度はもつ憧れでもあります。

私の身長は、一七七cm、年齢は高齢。この私がダンクシュートをしたと考えたと思います。毎日ジャンプ力を高めるトレーニングや空中動作の練習に一日のほとんどの時間を費やしたとしても、現時点での身体能力、年齢等を分析すると達成できる確率は皆無でしょう。

しかし、リングの高さを私の体格と跳躍力に合わせて調整したらどうでしょう。達成できそうなリングの高さを設定して練習を重ねていけばダンクシュートをすることが可能になります。規格のリングの高さにプレイヤーが合わせるのではなく、プレイヤーの今ある力にリングの高さを合わせるという発想です。

虹の家で行われている作業活動もこの発想が根底にあります。作業手順や作業設備を全てそのままの規格にあわせてとします。その際、障がい特性や

個人の持つ異なる長所が異なる利用者は達成可能な作業目標を持つことが難しくなります。また、ほとんどの利用者の皆さんが、それぞれの作業のコツを習得して心地よく作業することができないでしょう。その改善策として、例えば「プレス機の台の高さ」「部品を入れる箱の色を合わせる」と「作業インターバルの設定時間調整」などです。体格や障がい特性そして、個人の持つ異なる長所、それに合わせた器具などの作業環境を構成することが求められます。このことで、手先の器用さ・集中力・体力・体格の個人差を問わず、自分にあつた作業目標を持つ取り組むことができます。つまり、個々の利用者にあつた作業環境を整えることが、作業能率や意欲の向上に繋がる大きな要因と考えています。

これは、作業の時だけに限らず、全ての生活場面に共通しています。虹の家では、利用者の皆さんが「具体的にいつ、どんな場面で困っているのか」「その困りごとを解消するための適切な配慮は何か」を把握して、より良い生活を目指しています。障がいのある人が日常生活の中で不便を感じることや様々な活動をしようとするときに障壁になっているバリアがあります。このバリアを皆さんと一緒に取り除いて行くことを使命としています。

皆さんと一緒に、こんな虹の家を目指します。

①利用者様に寄り添って

安定して自立した生活を送れるために

心と体の成長

褒め育て

②仲間と一丸となって

自分の力量を高め

仲間と共に

雰囲気을大切に

「チーム虹の家」として

③保護者・地域と連携して

信頼される職員・職場

地域住民の事業所運営参画

地域力を活かした事業所支援

事業所力を活かした地域作り

「い」挨拶



クラレ新潟事業所長 金道 正裕

本年一月に新潟事業所長に就任した金道正裕と申します。新潟には約十年前に六年ほど勤務したことがあり、親しみのある地に戻ってきたことをとても嬉しく感じております。

さて、クラレ作業所は虹の家様と旧中条町の協力とご支援により設立されたと聞いており、以後二十年以上に亘り歩みを共にさせて頂いたことに大変感謝しております。本来であれば、私も「ふれあいサッカー」など虹の家様との合同行事に参加させて頂くことを楽しみにしていたのですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため叶わず、大変残念でなりません。この半年間、クラレ作業所としても様々な感染拡大防止策を講じてきました。虹の家様のご理解とご協力のもと、食事や作業時の「三密」回避、各種行事の見送り、緊急事態宣言下の作業所一時閉鎖などにより感染防止に効果を上げる

ことが出来ました。

こうした中でもクラレ作業所は歩みを進めています。現在二つの新たな作業の導入を進めており、社員それぞれの力を最大限に発揮すべく作業方法を検討しています。また九月にはセキュリティ対策として、火災や緊急時に作業所と事業所を繋ぐホットラインを設置しました。一方、大原記念労働科学研究所と共に、障害を持つ社員にとつてより良い職場環境作りのワークショップを開催していますが、作業所の環境がまだまだ不十分であることに気付かされ、さらに改善して行かねばならないと感じております。

最後になりましたが、虹の家様の益々のご発展と関係各位のご健勝をお祈り申し上げますと共に、一刻も早く新型コロナウイルスの感染が終息し、誰もが活き活きと活躍できる日常が戻ることを祈念致しております。

「ウイズコロナ下の保護者会」



虹の家保護者会 会長 小野 秀雄

日頃から、職員・協力企業・行政などの皆様から保護者会へのご理解・ご協力並びにご指導いただき感謝申し上げます。

今年の一月頃から中国の武漢市で感染が始まった新型コロナウイルスはアツという間に世界中に蔓延し未だ終息のメドがたつていません。

令和二年度の保護者会の活動計画は三月の役員会で検討し四月の総会にはかるよう準備を進めていました。しかし国内の感染が東京を中心に広まった為、総会は中止し総会資料を保護者に配布して了解を得ることにしました。

今年度は役員の改選や会費の変更等重要な議題もありましたが検討する機会もなく了承されました。

その後、新役員のもとで利用者が楽しみにしていた親子旅行の実施について実施方法の検討をしました。しかし感染が落ちつくだろうと思われる十月に山形、新潟の二班に分けて日帰りで実施しよう

ということになりましたが七、八月になって第二波が発生しいつ収束するか先が見えない状態です。こんな中、日頃お世話になって

いる方々との感謝祭や懸案の親子旅行、施設見学研修等について役員会で検討しました。感謝祭については申し訳ないが、感謝文で、施設見学研修はお願いする施設に御迷惑をかけることから中止としました。親子旅行は十月に利用者を数班に分け豪華ランチで我慢してもらおうということになりました。

今後予定している大きな行事の忘年会、研修会、ですがこれらの行事も今後の感染状況を見ながら役員会で検討していきます。

自粛とウイズコロナの生活は当分続くものとおもわれます。

虹の家は感染症に対して十分に注意して運営されていますので保護者もできる限り協力して絶対に感染しないという意気込みを持って頑張りましょう。



令和二年度 虹の家
保護者会新役員

会長	小野 秀雄 (胎内市)
副会長	小笠原マサ子 (新発田市)
副会長	小野 真 (所長)
会計	渡辺 律子 (聖籠町)
監事	長田真由美 (村上市)
幹事	伊藤みや子 (胎内市)
	大塚 広子 (胎内市)
	斎藤 恵子 (胎内市)
	平野 雪子 (聖籠町)
	森谷 綾子 (新発田市)
	齊藤 洋子 (村上市)
	長谷川六子 (胎内市)

虹の家で目指す利用者様の姿

今年度の取り組み



1. 進んで作業に取り組む利用者様

- 工賃の増額に向け昨年度より「収入の増額」をめざします。
- 月目標を決めて、「無駄のない作業」に努めます。

2. 思いやりのある利用者様

- お互いの「良さが分かり合える」ように努めます。
- お互いに「あいさつが出来る」ように努めます。

3. 心身ともに健康な利用者様

- 「健康を意識した生活」に努めます。
- 「うがい・手洗い・マスク」を意識した生活に努めます。

グループ2号棟が新築されました

※令和2年3月24日竣工 虹の家・第2号棟が胎内市西栄町5-35に新築されました。



就労風景 (新しい仕事をいただきました)

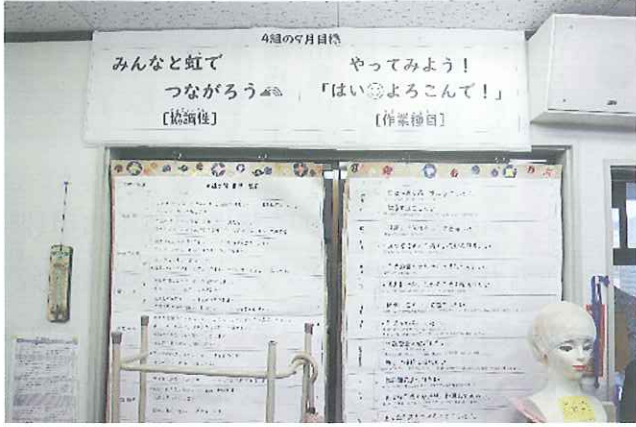
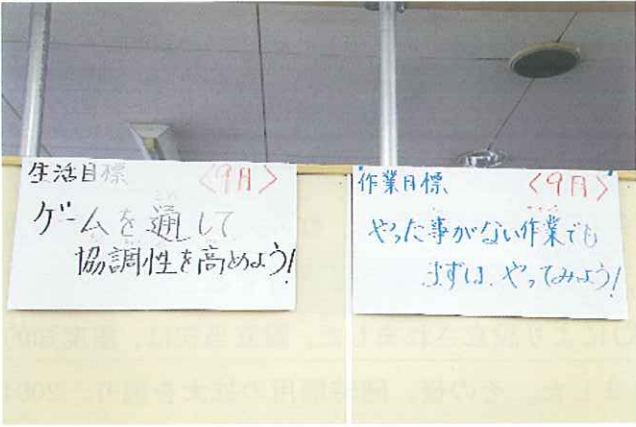
◎(株)小国製麺様での現場実習



◎(株)芽瑠(める)様からの、シール貼り作業(汚れ落としの製品)



月ごとの生活と作業の取り組みについて



コロナに向けて（3密を避けます）

「ま・け・な・い・で」の取り組み。



- ま** … 「マスク」を付けよう。
- け** … けんおん。
- な** … ながくいらない。
- い** … いちあげる。
- で** … てあらい、うがい。



クラレ作業所の現在

1. 概要

クラレ作業所は、1997年4月に胎内市(旧中条町)が土地を提供し、虹の家から運営・指導面での協力をいただき、クラレが作業場を建設し、社員、指導員を雇用し運営するという、行政と福祉施設と民間企業の3者の協働(トロイカ方式)により設立されました。設立当初は、重度知的障害者(社員)5名と指導員1名の体制で始まりしました。その後、随時雇用の拡大を図り、2004年以降は社員20名、指導員4名体制で運営しています。

クラレは障害者雇用の面で新潟事業所の他、他事業所(倉敷、西条、鹿島、岡山)でも雇用を積極的に行っておりますが、中でも新潟事業所は雇用の面で大きく貢献しています。

又、障害者に働く場を提供するという企業の社会的責任、地域社会への貢献という役割を果たしている事を高く評価いただき、2009年には県知事賞、2013年には厚生労働大臣賞を受賞いたしました。そして昨年は、社会福祉法人七穂会より“就労支援事業に協力し貢献した”事を評価いただき感謝状を頂きました。

2. クラレ作業所の運営基本方針

- (1) 地域に密着した社会貢献活動のひとつとして、胎内市と社会福祉法人(七穂会)虹の家の協力を得て、障害者の雇用促進を図る。
- (2) 会社は、社員に対し深い理解と深い愛情を持って、指導と援助に当たり、社員の可能性を最大限に生かすことに努める。
- (3) 社員は社会の一員であるという自覚のもと、主体性と自主性を持って職務遂行に努力する。
- (4) 会社は、社員が生きがいのある社会生活を確保するために努力する。

3. 社員の雇用状況

作業所の年齢層は20代から60代と幅広く雇用され、平均年齢は42才になります。又、雇用範囲も胎内市を中心に、新発田市、阿賀野市、聖籠町と広範囲となっている為、専用の通勤バス(虹の家と共同運行)及びワゴン車(胎内市中心)を運行し、自宅から作業所へ安心して通える様に対応しています。

現在は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、「虹の家」との行事や自治会活動への参加が制限されていますので、社員は虹の家利用者さんとの交流が出来ずとても残念がっています。

早く以前の様な活動ができる様願っています。

新利用者紹介



久保田 真智子
(令和2年3月入所)

私は三月に虹の家に来ました。まださむかったのですがみな様がたが一生懸命作業にとりくんでいるすがたにいきいきようされ助けていただき6カ月たちました。どうかみな様よろしくお願ひします。



渡辺 麦
(令和2年6月1日入所)

六月から虹の家に入所しました。今は、正月飾りのみかん袋入れ作業を毎日がんばっています。虹の家では、色々な余暇活動があるので、それに参加することが楽しみです。また、たくさんの人と仲良くして、楽しくすごしていきたいです。よろしくお願ひします。

新任職員紹介



職業指導員
榎本 亜由美

四月からお世話になり、早五ヶ月が過ぎました。明るく優しい利用者の皆様に支えられ、そして教わる事も多い毎日です。

私がこの仕事を選んだきっかけは医療保育に通っていた息子です。親として大変な事、悩む事も多く、辛い時期もありましたが沢山

の人に支えられ、今があります。私がしてもらった様に、私自身も寄りそい、力になれる様日々精進し、恩返しをしていきたいと思っております。



生活支援員
三嶋 愛

この度、四月より虹の家でお世話になっております。まだまだ分からない事も多いですが、日々、ご利用者様並びにご家族様に支えられながら、成長させていたたいしております。

現在は、お正月のみかん飾りをする作業に携わらせていただいております。複数の工程を経て一つの製品が出来て行く中で、ご利用者様がそれぞれのお仕事で輝く姿を見て、自分も一緒に輝けるよう頑張つて行けたらと思っております。



相談員
新村 奈緒

今年の四月からお世話になり相談支援センターに勤めさせて頂き、早八ヶ月が過ぎようとしていきます。福祉の世界は初めてで、日常起こる全ての事が勉強です。まだまだ分からない事が多く、後から考えて、「もつとこうできたのでは？」や、「こんな言い方をすれば良かった。」など反省はつきません。

こんな私ですが、一人一人素敵な個性をお持ちの利用者の皆さんと一緒に、楽しく成長していけたらと思っております。よろしくお願ひします。



生活支援員
西奈美 佳奈

今年度よりお世話になります、西奈美佳奈です。四月当初は、緊張でドキドキしながら過ごしていましたが、利用者の方々に沢山明るい声をかけて頂き、毎日嬉しい気持ちでいっぱいです。まだまだ至らない所も多々ありますが、皆様が活き活きとした日々を過ごせるよう、精一杯頑張つていきたいと思ひます。

転入・転出職員紹介

新任職員

- 小林 良子 (ハートワーク高浜より転入)
- 渡邊 寒奈 (ハートワーク高浜より転入)
- 西條 聡浩 (ハートワーク高浜より転入)
- 吉井 理人 (すばるワークセンターより転入)

異動職員

- 河内 朝子 (すばるワークセンターへ転出)
- 渡辺 早希 (ハートワーク高浜へ転出)
- 居城 明夫 (ハートワーク高浜へ転出)
- 塚野 博史 (すばるワークセンター 所長)
- 横井 美佳 (すばるワークセンターへ転出)
- 船山 佳代 (ハートワーク高浜へ転出)

退職職員

- 三月三十一日
飛鳥クニイ
- 平野 政志

退所利用者

- 八月三十一日
大野 春美



虹の家の販売品

虹の家では、下記の製品を販売しています。
よろしければ担当(南波)まで、ご連絡ください。

①各種マスク(600円・刺繍あり650円)

リメイクマスク(500円)

②各種ブローチ(350円)

③ヘアゴム(100円)・布巾(250円~300円)

④各種陶芸品(カップ・ペン立て・徳利他

※ご寄付のお願い・・・布地(未使用、色落ちしない、シミがない物)



ホームページが全面改訂されます

「七穂会のホームページ」が全面改訂されます。
各事業所の様々な情報もご覧になれます。
完成まで、もうしばらくお待ちください。

HP:<https://nanahokai.com>(ナナホカイ ドットコム)

編集後記

皆様からのご協力を頂き、「虹のかけ橋」第49号を発行することが出来ました。
今後ともよろしくお願いいたします。

住所 胎内市西条412番地4 電話 0254-44-8448